広報おさし1/2

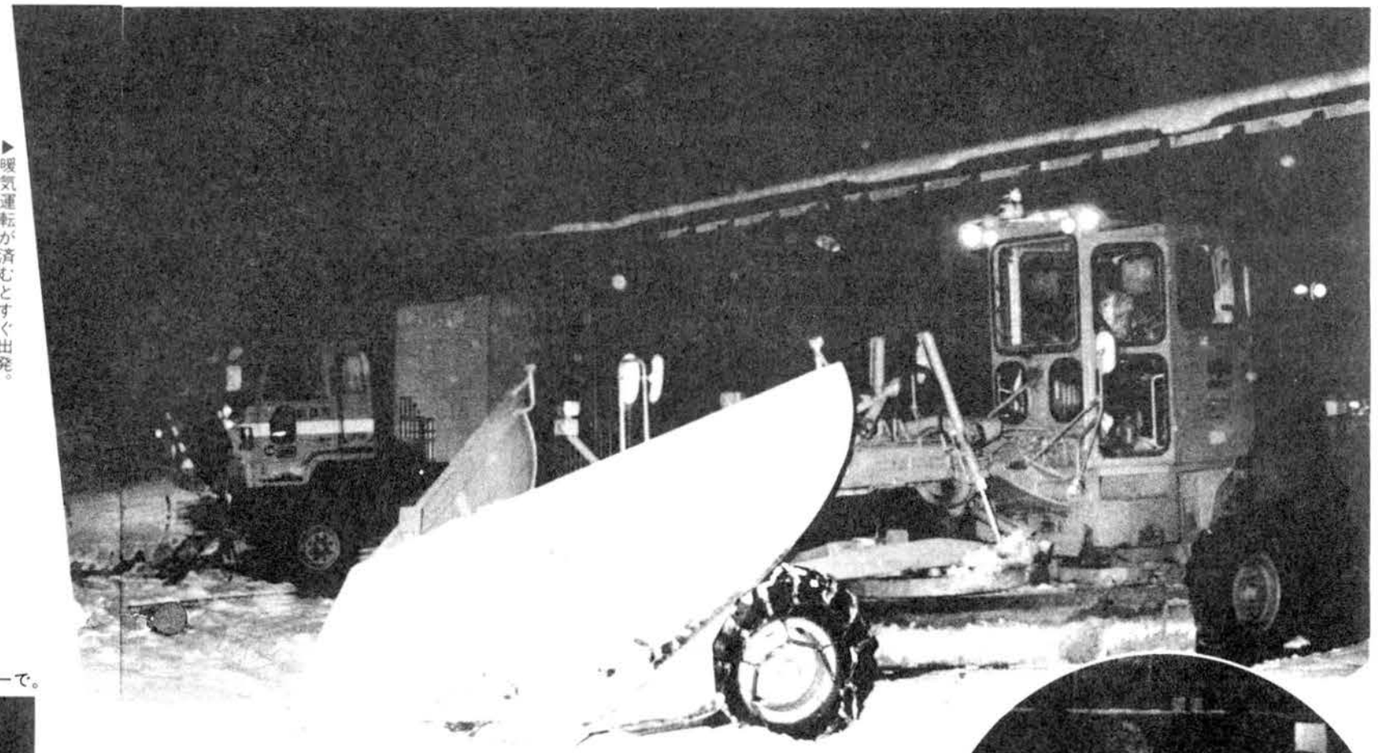
No.354
昭和60年

■あなたの声を広報に ■あなたと広報係を結ぶホットライン ☎83-1100(内線17)

●グラフ特集 2P
早朝除雪 出動は午前3時
●特　集 4P
観光を考える20人委員会報告書
●議会だより 6P
12月定例会より
●みんなの広場 10P
スポットライト、なかまたち、さわやかさん
●ふくしの窓 12P
歳末たすけあい募金結果
●みんなのスポーツ 13P
ビーチバレーボール大会等
●くらしの情報室 14P
年金、けんこう、町外情報等
●トピックス 16P
まちのうごき
●あなたの本箱 18P
図書館案内
●まちのアルバム 18P
大屋海岸

●成人式の一コマ(ゲーム)から

20歳の門出はすてきな笑顔から



▶暖気運転が済むとすぐ出発。

◀除雪トラックはスピーディに、広範に。

▲除雪本部には電話が殺到。寄せられた情報はすぐ無線で各車に指令。

●グラフ特集❷

早朝除雪
出動は午前3時

10センチ以上の降雪で出動

朝日町除雪本部は12月16日に設置されたものの、それ以後暖かい日が続き、休業状態といったところでした。しかし、12月22日午後から猛烈な寒波が押し寄せ、未明までに、平野部で13㌢、山間部で20㌢の積雪となりました。

以後、連日降り続き、12月の30日には積雪1㍍(消防署調べ)を越え、56・59豪雪の記録を大きく塗り替えました。

このため、除雪本部は12月23日早朝からフル回転となりました。国道の除雪は建設省が、県道は富山県が、町道の除雪は町が行っています。

町道の除雪計画路線は109路線、63キロですが、このうち早朝除雪路線は39路線、33キロの幹線道路を主体に、通勤通学路の確保を図っています。

町有除雪車3台に加え、民間所有機械35台を借り上げ、早朝3時に各除雪路線へ出動しております。

除排雪における人身事故と溢水(ザイ)防止に協力を

今冬は、早い時期から降雪が続き、皆さんは除雪や屋根の雪下ろしなどに日夜奔走されたことと思います。町でも、雪下ろし中の転落事故や家屋等の被害が発生したことから、1月7日他町に先駆け、朝日町雪害対策本部を設置しました。

今後、さらに断続的に降雪が続くものと予想されますので、次の事項に留意し、一層のご協力を賜りますようお願いいたします。

屋根雪下ろしについて

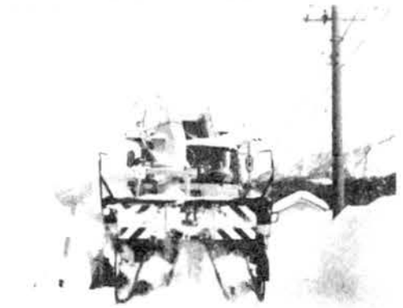
- 屋根雪下ろしは、できるだけ2人以上で行い、高齢者や持病のある方は、無理をしない。
- 長靴に縄を巻くなど、滑らないよう工夫し、特に軒先での作業には注意する。
- LPガスボンベや煙突のあるところは、破損等に特に注意する。

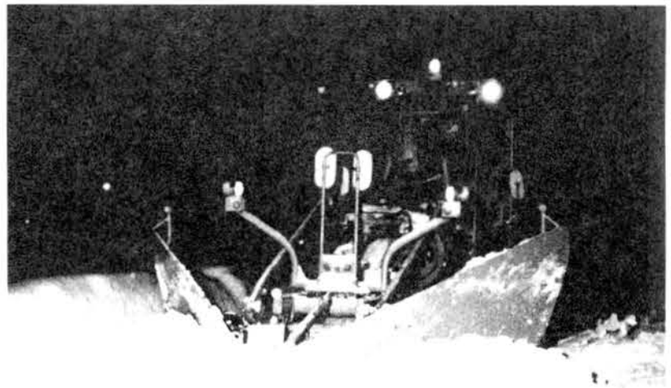
用水や流雪溝の溢水防止について

- 用水や流雪溝への除排水には、下流で用水や流雪溝が溢水し、家屋等に被害が発生しますので、隣接町内会等とよく連絡しながら行う。
- 保護者は、幼児等の用水や流雪溝等への転落防止に十分注意し、危険な所で遊ばせないようにする。

道路の除排雪について

- 車の路上駐車は、除雪作業の妨げになるので駐車しない。なお、故障等で止むを得ず駐車するときは、運転者の所在を明らかにする。
- 生活道路(幅員の狭い道路)等は、町内会などが中心になり、地域ぐるみで一斉除排雪を行う。





▼日中にロータリーでカベを切っておくのも大切な作業だ。

▼雪の深い所や吹きだまりのある所はグレーダーで。

▼出動と同時に各地の積雪状況をパトロールし本部に連絡する。

自然を活用した観光開発を

朝日町の観光を考える20人委員会が最終報告書を提出

▲高山植物の宝庫朝日岳

私達の朝日町が観光の町として発展するためにはどうあるべきかということをテーマとして検討するため、町内の各界各層から20名の方々を選出し、昭和58年5月に「朝日町観光を考える20人委員会」を発足しました。

この20人委員会は、2年間にわたり、文字どおり精力的に町内の実態調査をはじめ、他市町村の現地調査等を行い、昨年12月、その調査研究結果をまとめた報告書を町長に提出しました。

これを受けて、町では、議会や町観光協会の意見を賜るとともに、実現に向けて調査検討するため、「朝日町観光開発検討委員会」を設置し、朝日町新総合計画に反映させるための観光ビジョンを樹立してまいります。

報告書は、7項目、12ページにおよび、詳細にまとめられています。主な内容は次のとおりです。

報告書内容

Ⅰ　はじめに

経済、即ち「商」行為は、物と人の動くところに成り立つものであり、このうち「人の動き」的なものが観光産業になるものと思われる。

観光の条件として

1、優れた自然を人々に紹介し、その自然を観賞してもらうもの。

2、人の創り出した文化財、民俗芸能、その他を公開することにより、人間社会の文化を伝承していくための助力となるもの。

3、人々に休養と心に安らぎを与え、明日への活力を生み出すための施設を共用するものなどがあげられる。

これらがうまく融合し合って、すばらしい観光産業として成り立っている地域が多くみられる。

また、そのうちの一条件のみが突出し、観光地として名をなしているものもある。

これを朝日町の観光資源にあてはめてみると、

1については、朝日岳・白馬岳を軸にする中部山岳国立公園をあげることができる。

2については、不動堂、浜山等の遺跡郡と宮崎城跡、境関所跡などの戦国から江戸期の史跡、百河豚美術館の数多くの美術品と郷土が生んだ幾多の芸術家たちの作品をあげることができる。

3については、小川温泉をはじめ、町の平坦部から望める小高い山々、そして白砂青松の美しい海岸。加えて、先達たちが開拓した料理の数々と伝統を維持してきた芸妓群をあげることができる。

Ⅱ　既存施設を見て

宮崎海岸、馬場キャンプ場、城山付近、みつばグリーンランド、棚山台地等、朝日町の既存の施設を見て回った結果、気付いた点として、

1、道路事情が悪く、大型バスが通らない。

2、休憩所、売店、管理室等が不備である。

3、運動施設等が不備である。

4、交通の便が悪い。

5、登山道等の整備が必要。

Ⅲ　社会的条件

1　人口構造の変化と観光

若者の町外への流出により過疎化現象を呈し、年齢別人口の変化が著しい。また、出生率と死亡率の低下が全国的にみられ、高齢化社会への様相を呈している現実から、観光対象を考える。

2　家庭生活の変化と観光

・「マイホーム主義」「主婦の就労の増大」が進んでいることから、滞在型、日帰り型、集団型の見通しと観光対策を考える。

Ⅳ　利用できると思われる観光資源

1、朝日岳・白馬岳を軸とする中部山岳国立公園と山間を流れる渓流。

2、県境に連なる山々。

3　町の地理的位置と観光

・朝日町は日本の中央部に位置し、日本のヘソと言えるが、東京、大阪からそれぞれ400㎞と距離を感じさせることも考慮しなければならない。

委員名簿

委員長	本村　朝男	55歳（荒川）
副委員長	水島　繁一	46歳（境）
委員	由井　勝	28歳（雨川新）
〃	川上　加奈江	24歳（長野）
〃	竹谷　稔	29歳（宮崎）
〃	時田　久夫	28歳（平柳）
〃	秋山　正美	25歳（山崎）
〃	蓬沢　二	41歳（山崎）
〃	越間　利志雄	33歳（南保）
〃	畑　良造	37歳（平柳）
〃	上島　恵子	34歳（沼保）
〃	竹内　俊宏	37歳（笹川）
〃	堀地　充雄	44歳（南保）
〃	大村　邦夫	47歳（沼保）
〃	南茂　寛	48歳（桜町）
〃	水野　忠明	51歳（横尾）
〃	野田　いの	67歳（宮崎）
〃	佐賀　嶺	51歳（荒川）
〃	松倉　富五	65歳（東草野）
〃	家室　宏邦	46歳（平柳）

◀北又渓谷魚止滝

3、急峻な山から流れ出る河川。
4、日本海と白砂青松の美しいヒスイ海岸。
5、城山を中心とした朝日県立自然公園。
6、山麓に湧き出る温泉。
7、不動堂、浜山等の遺跡群。
8、宮崎城跡、境関所跡等の史跡。
9、百河豚美術館、郷土が生んだ芸術家。
10、海の幸、山の幸。
11、清澄な伏流水。
12、各地のまつり、盆踊り、獅子舞等の民俗芸能。
13、料亭と若い芸妓。
14、郷土を愛する美しい人情。

Ⅴ　将来を考えて

観光客の形態の変化、高速時代による旅行の形態の変化等を踏まえ、21世紀の朝日町が「いいところ見て、うまいもの食べて、遊んで、楽しかった」と観光客に喜んでもらえる四季を通じた滞在型観光地を目指し、温泉と各観光資源を積極的に活用し、有機的に結ぶ観光開発構想をたててみた。

1、北又ダムを中心としたクリエーション施設の開発。

ア、ダムに沿った朝日岳への登山道整備。

イ、北又から魚止滝、初雪山、犬ヶ岳への登山道整備。

ウ、北又から黒薙温泉への歩道整備。

エ、ダムを利用した川魚の養殖と渓流釣り。

オ、湖畔キャンプ場、森と湖のペンション集落の形成。

カ、登山研修センターの設置。

キ、売店、食堂、休憩所、駐車場等の設置。

ク、北又までの交通機関確保。

2、境海岸から宮崎海岸沿いに広がるレジャーランド構想。

ア、道路と駐車場の整備。

イ、レジャー施設の設置。

ウ、海岸キャンプ場の整備。

エ、海岸に沿った青少年育成施設の設置。

オ、鮮魚の直売所、土産品店。

カ、海水浴場の確保と管理棟。更衣室、シャワー室の設置。

3、温泉街づくり

ア、娯楽施設、飲食街づくり。

イ、遊歩道の整備。

4、境関所の復元と境一里塚、護国寺、境山、浜山を結ぶ観光施設の整備。

ア、遺跡資料の設置。

イ、巡回道路の整備。

5、棚山台地周辺と貝釣山山麓の森と湖のレジャーランド構想。

ア、スポーツ、レジャー施設の設置。

イ、台地一帯に草花園、薬草園をつくる。

ウ、貸し牧場。

エ、森林浴のできる森づくり。

オ、宿泊可能な研修施設の設置。

6、城山周辺の整備。

ア、展望休憩所、売店、レストラン等の設置。

イ、宮崎城の復元。

ウ、ハンググライダー発着場。

7、みつば台地の整備。

ア、キャンプ場を活かし、芝スキー、ボブスレー、アスレチック等の運動施設整備。

8、冬期間の観光施設として「スキー場」の開発。

ア、みつば、ザラク、定倉山、初雪山、白鳥山、二王山があげられるが、大規模で大量の客を誘致できるスキー場を考えたい。

9、民俗資料館、博物館などを集め「美術の里」「美術の森」をつくる。

ア、不動堂遺跡の背景のための植栽。

イ、「世界一おいしい水」のPRのため、泊駅に湧水装置を設置する。

10、都市公園と町民会館の建設

ア、各種の集会、会合が開催できる舞台付き町民会館の建設。

11、サービスの良い料亭に日本海の味、山里の味を加える。

12、町民全体が参加できる「まつり」と全国規模の大会開催。

ア、「あさひまつり」を拡大。

イ、全国ビーチバレーボール親善交流会。

ウ、不動堂の遺跡公園を利用した「まつり」

13、和やかなふれあいの心をもつ子供を育てる。

ア、「青年・学生の船」の企画。

イ、ふるさと留学制度の研究。

ウ、県外の朝日町出身者の共有別荘、貸別荘の建設。

エ、「こども」と「おとな」のふれあいの場づくり。

14、その他

ア、旅行客が利用しやすい特急列車の停車。

イ、朝日町観光の標語の公募。

ウ、観光案内所の設置。

エ、「北陸の宮」「長谷川地蔵」などの物語の作成。

オ、魚の加工、和紙製品、各種酒などの特産品の開発。

カ、料理の研究。

Ⅵ　当面する課題（主なもの）

1、道路改良と駐車場の確保。

2、町民会館、青少年研修施設の建設促進。

3、広告塔、案内板の設置等。

4、町の標語募集。

5、特急列車の停車。

Ⅶ　おわりに

これが実施計画のためには、問題は多くあるが、活力ある町づくりのため、長期計画のもと、一歩一歩進めたいものである。

また、財源については、公費の効果的な投資と合わせ、民間活力の導入を考える必要がある。

一方、観光で客を呼ぶことと日常生活をしている人々の生活の間に矛盾が生ずることが多い。

それを無くしていくためにも、町民がすばらしい環境の中に住んでいるという意識をもって暮していく町づくりを考えねばならない。住み良いということから人が集まり、観光が生まれてくるものと考えられる。

◀夏の宮崎海岸

一般会計補正予算など27議案を可決・承認・同意

新庁舎建設工事請負費を予算化

第8回朝日町議会定例会(12月)から

昭和59年第8回朝日町議会定例会は、会期を12月18日から26日までの9日間として開会しました。

今定例会では、昭和59年度朝日町一般会計補正予算(第4号)など、27議案を本会議並びに各常任委員会で慎重審議のうえ、それぞれ原案のとおり、可決、承認、同意されました。

なお、19日に委員会の所属変更及び特別委員の辞任、選任が許可されるなど、議会の委員会構成が一部変更になりました。22日には、新川広域圏組合議員の辞職に伴う、補欠選挙が行われ、新たな組合議員が決まりました。

また、陳情8件の審査結果は、採択4件、継続審査4件の決定がなされました。

常任・特別委員長報告

総務教育委員会

付託案件については、それぞれ原案のとおり、可決すべきものと決しました。

なお、議案審査の過程において、次の要望意見がありました。

1 スクールバスの冬期間運行にあたり、来年度から運行計画区域の一部を変更されることは、教育的見地によるもので、高く評価いたします。

今後とも、時間をかけて心身を鍛えるなど、精神修養面の充実化を図る見地から、関係住民との協議を重ねながら、対象区域の見直しや受益者負担制度の導入などを前向きに検討されたい。

2 小学校の統合問題は、対象児童数の減少など諸条件を勘案し、昭和52年に学教審から答申された3校案を基本に、時代の推移も見極めながら、関係地域住民との協議を重ねるなど、統合に向け精力的かつ積極的に取り組まれたい。

3 ビーチバレーボールのアビール塔は、現在地の状況を勘案した場合、宣伝効果が発揮できなく、9月議会で善処されたいと報告した経緯もあり、今期定例会において、事実関係を調査したところ、町当局の判断の誤まることに遺憾であるとともに、今後はこのようなことのないよう配意されたい。

陳情の「室内ゲートボールの施設、設備について」は、諸般の状況を勘案し、継続審査に決した旨、報告されました。

環境厚生委員会

付託案件については、それぞれ原案のとおり、可決すべきものと決しました。

なお、議案審査の過程において、次の要望意見がありました。

1 10月1日から、国民健康保険に退職者医療制度が施行されたことに伴う財源補てんは、一般財源でできるだけ充当し、国保の被保険者に過重な負担をかけないよう努力されるとともに、地域別の疾病分類等の統計調査を早急に作成し、適切な行政指導を行うなど、医療費の軽減化に努められたい。

2 国からの保育児童措置費の減額に伴う財源補てんは、一般財源を充当するなど、保護者への転嫁をできるだけ押えた徴収基準を作成されるとともに、徴収額の決定時に所管の委員会と協議されるなど、最善の方策を前向きに検討されたい。

3 大家庄保育所の建設にあたり、現在、児童の登校拒否問題が大きな社会問題となっていること等を勘案のうえ、多少建築単価が高くなっても、子供に夢を持たせるとともに、喜んで通園するような建物及び設備について前向きに検討されたい。

4 泊病院が公的医療機関としての機能を十分発揮できるよう組織機構の充実を図るとともに、人事管理面においても、院長等の意思が末端まで浸透するような方策を講ぜられたい。

陳情の「ゲートボール広場の設置について」並びに「身体障害者福祉について」及び「社会福祉の増進について」は、それぞれ願意妥当と認め、採択にすべきものと決した旨、報告されました。

産業建設委員会

付託案件については、それぞれ原案のとおり、可決、承認すべきものと決しました。

なお、議案審査の過程において、次の要望意見がありました。

1 特産物であるイノブタ肉のコストダウンができるよう、関係者と協議し、将来の飼育計画を樹立されたい。

2 消雪装置を設置する場合、特に、交差点等に配意されたい。

3 消雪装置の設置は、設置基準により年次計画を立て、対処されたい。

4 スーパー農道の早期完成に向けて努力されたい。

5 転作基準を各農家に広報されたい。

陳情の「富山県立泊高等学校の第2体育館予定地等の造成に伴う道路設置について」は、願意妥当と認め、採択にすべきものと決した旨、報告されました。

新庁舎建設調査特別委員会

町民の長年の懸案でありました新庁舎の建設も着々と作業が進められ、今期定例会に2ヵ年の継続事業ということで本年度分の工事請負費が補正予算に計上されております。

このたび、新庁舎建設にあたり、地元の各種業者から陳情されております、同主旨内容の陳情3件、「新庁舎建設の入札について」は、諸般の状況を勘案のうえ、継続審査にすべきものと決した旨、報告されました。

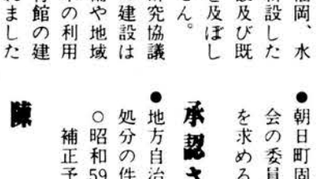
代表・一般質問の中から

C・T装置の設置 昭和60年4月早々に

質問 今期定例会において、泊病院事業会計補正予算にC・T装置の設置を前提とした改装費が提案され、頭部疾患等の診断・治療に光明を感じますが、昭和60年度早々にC・T装置を設置されるお考えがあるのか、併せて購入の財政措置をお聞かせ願います。

答弁 総合診療体制を確保するための要件であります全身用断層撮影装置の導入については、今回の補正予算に基づいて、装置室の改造を実施し、昭和60年4月の早い時期に設置いたしたいと考えております。

その財政措置については、昭和60年度の企業債等の財源をもって対応したいと考えており、事務的に関係機関との協議を進めさせているところであります。



▲C・T装置(X線身体断層撮影装置)

泊高校第2体育館 積極的に取り組む

質問 泊高校の生徒は、体育館の不足から町の総合体育館を使用しております。県の教育委員会では、泊高校第2体育館の必要性は認めているものの、1年に1校ずつという計画を立てています。泊高校に第2体育館を建設していただきたいという生徒や町民の願望が高まるなか、町当局は早期建設に向け、どのような取り組み方をされるお考えなのか、お聞かせ願います。

答弁 泊高校の第2体育館建設の要望につきましては、昭和56年から進めてきたところであります。しかし、県では、生徒急増対策として、昭和56年度から58年度にかけて、福岡、水橋、呉羽高校の3校を新設したため、第2体育館の建設及び既存校舎の改修等に影響を及ぼしたことは、否定できません。

富山県高等学校教育研究協議会で、今後、新設高校の建設は行わず、既存施設の整備や地域社会への開放など、将来の利用計画を踏まえた第2体育館の建設を県に対して要望されました

▲現在の泊高校体育館

可決されたもの

昭和59年度補正予算

- 朝日町一般会計補正予算(第4号)
- 朝日町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- 朝日町老人保健医療事業特別会計補正予算(第2号)
- 朝日町国民健康保険診療施設笹川診療所特別会計補正予算(第1号)
- 朝日町国民健康保険診療施設宮崎診療所特別会計補正予算(第1号)
- 朝日町国民健康保険診療施設境診療所特別会計補正予算(第1号)
- 朝日町簡易水道特別会計補正予算(第1号)
- 朝日町南保外二地区用水特別会計補正予算(第1号)
- 朝日町立泊病院事業会計補正予算(第2号)
- 朝日町一般会計補正予算(第5号)
- 朝日町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
- 朝日町国民健康保険診療施設境診療所特別会計補正予算(第2号)
- 朝日町簡易水道特別会計補正予算(第2号)
- 朝日町立泊病院事業会計補正予算(第3号)

条例(一部改正)

- 朝日町税条例
- 朝日町基幹集落センター使用料条例
- 朝日町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例
- 朝日町長、助役及び収入役の給料その他の給与及び旅費支給条例
- 朝日町教育委員会教育長の給料その他の給与及び旅費支給条例
- 朝日町の職員の給与に関する条例

その他

- 不動産処分に関する件

議員提出議案

- 農地の固定資産税据置きに関する意見書
- 地方バス維持整備に関する法制化を求める意見書
- シートベルトの着用推進に関する決議
- 減反政策の撤廃を求める意見書

同意されたもの

- 朝日町固定資産評価審査委員会の委員を選任するため同意を求める件

承認されたもの

- 地方自治法第179条による専決処分の件
  - ○昭和59年度朝日町一般会計補正予算(第3号)

陳情

ので、町といたしましても、泊高校第2体育館の建設実現に向け、積極的に取り組みたいと考えております。

ひすい石
出土品の周知は前向きに

質問　境地区で発掘された5千個もの「ひすい石」には、大きいもので子供の頭ほどもある素晴しいものだと新聞紙上で知りました。弥生文化のひすいロードの出発点として、全国にも例のないこの貴重な〝ひすい宝石の遺跡〟を広報あさひで町民の方々に知らしめるとともに「町石」として指定する考えがないか、また新庁舎完成後、ロビーに町のシンボルとして展示する考えがないか、お聞かせ願いたい。

答弁　境遺跡につきましては、県埋蔵文化財センターが発掘調査を行っておりますが、現在のところ発掘された出土品の分析解明の完了が昭和60年度以降になる見込みであります。

出土品の周知につきましては、県埋蔵文化財センターと協議して、前向きに取り組みたいと考えております。

なお、ひすい石を町石として指定することにつきましては、県内において、「石」を指定している市町村はありませんが、出土品の分析解明が終了しだい検討いたします。

新庁舎のロビーに展示することにつきましては、発掘された出土品は県所有のものであり、分析解明後、県の許可を得られれば展示したいと考えております。

山村留学
学習の場として適地

質問　当町の恵まれた自然環境を生かした山村留学については、前々から提唱しておりますが、山村留学の先進地を視察するなど、前向きに研究、検討しておられるか、また、広い意味では、観光施策と一体化できると思うし、小学校の統廃合問題とも深い関連性があると思料いたします。この点について、どのように考えておられるのか、お聞かせ願います。

答弁　今まで先進地調査を行っておりませんが、ご指摘のとおり、当町は自然環境に恵まれており、自然を生かした学習の場として適地だと考えております。

また、観光施策と一体化できないかという問題につきましては、「朝日町の観光を考える20人委員会」の最終報告を踏まえ、観光施策の一環として、役場内に設置した観光開発検討委員会で前向きに取り組むこととしております。

なお、小学校の統合問題については、これからの問題であり、事態の推移をみながら、検討いたしたいと考えております。

新庁舎建設
原則は町内業者優先

質問　新庁舎建設の工事発注については、大手建設業者による単独工事なのか、あるいは常々議会で答弁しておられるように、地元業者を優先するという立場を堅持し、地元業者を加えた共同企業体方式を採り入れるお考えがあるのか、また、今後に建設される公共事業は、どのような方針で対応されるのか、その点についてもお聞かせ願います。

答弁　新庁舎建設の業者の選定にあたっては、町のシンボルであるという重要性、工事の規模からいたしまして、慎重に検討いたしております。

また、今後の町単公共事業発注につきましては、従来からの方針どおり、町内業者優先の原則を今後とも守っていきたいと考えております。

しかし、事業の規模あるいは技術度によりましては、過去の前例のように、町外の大手業者も加えた発注方法が適切でないかと考えております。

▲新庁舎建設予定地

他用途利用米
配分方法を検討

質問　他用途利用米の取り組みについて、本年度は集荷割当など、集荷業者や出荷される農家の方々が大変混乱いたしました。

昭和60年産米の他用途利用米の取り組みについては、もう少し簡素化したり、あるいは農家の方々の協力が得られる方策を検討しておられないのか、お尋ねいたします。

答弁　昭和59年度から転作の枠組みの中に位置づけられ、導入された他用途利用米については、初年度ということもあり、導入の趣旨、配分方法、集荷方法、主食転用扱いなど、さまざまな問題が生じ、結果として、生産者、集荷団体にご心労をわずらわせることになった次第であります。

昭和60年度の対応につきましては、今年度の取り組みの反省点を踏まえ、制度の趣旨徹底等の方策について、農業団体等、農業関係機関、さらには町農業振興促進協議会とも十分に相談し、農家の声が直接反映できるような配分方法の検討を行い、他用途利用米が制度として定着するよう努力してまいります。

また、出荷事務の簡素化については、制度が食管制度の中に位置づけられていることもあって、町独自で改善はできませんが、町と農業団体、農家との間の事務については、分かりやすく趣旨が伝達できるよう、改善したいと考えております。

採択になったもの

- 富山県立泊高等学校の第2体育館予定地等の造成に伴う道路設置について
- ゲートボール広場の設置について
- 身体障害者福祉について
- 社会福祉の増進について

継続審査になったもの

- 室内ゲートボールの施設設備について
- 新庁舎建設の入札について

（3件）

泊病院の時間外診療
当直体制で対応

質問　泊病院は、本年度から新しい院長を迎え、諸先生方をはじめ関係職員のご努力により、徐々に地域住民の信頼に応えうる公的医療機関として、機能発揮しておられるという評判を聞き、喜ばしい限りであると思っております。

一方、仕事の関係等によって、午後5時以降でないと病院に行けないので何等かの方策を講じていただきたいという声が多くあり、その点をどのように考えておられるのかお聞きいたします。

答弁　現在、病院の外来受け付け時間は、検査、手術など特定の日は別として、原則的には、午前8時30分から午後4時30分までとなっています。

▲泊病院

ご指摘の夜間、休日などの時間外につきましては、当直体制で常時対応いたしております。

なお、従来は当直の医師が1名でありましたが、昭和58年6月から内科系医師1名、外科系医師1名の常時2名で当直しております。

時間外の患者については、原則として当直医師が診療にあたり、病状によっては、専門の医師が診療を行うなど、万全を期しております。

現庁舎の跡地利用
跡地利用検討委員会で

質問　今期定例会に、町民の念願でありました新庁舎建設予算が計上してありますが、その反面、現庁舎の跡地をどのように有効利用されるのかということが、町民の大きな関心事になっていると思われます。

今日まで、現庁舎周辺につきましては、土地再開発という立場で都市計画街路事業の泊・桜町線に巨額の投資をしてきており、その投資効果を高めるうえでも現庁舎の跡地をどのように有効利用されるお考えなのかお聞かせ願います。

答弁　現庁舎の跡地利用につきましては、新庁舎を核とする新しい都市計画づくりの展望とも考えあわせ、現市街地や商店街のあり方など、長期的視野に立って、慎重に検討することが大切であると考えております。

なお、跡地は、町の中心地に位置していることから、来年度早々に、町内各界各層からの代表者により、役場跡地利用検討委員会を設置し、幅の広い意見を参考に、最も有効な跡地利用を図ってまいりたいと考えております。

▲現役場庁舎

一般質問の通告制
効果はあがっている

質問　一般質問の通告制採用については、議会におきましても長い間議論されてきたところでありますが、考え方によっては、一長一短があって、結論が出ないまま、町長の強い要望が実ったものであることは、ご承知のとおりであります。

通告制を採用してから日も浅く、極端な評価はできないと思いますが、職員の資質の向上などに実務効果があったかどうかお聞かせ願います。

答弁　ご指摘の通告制の採用につきましては、議員各位のご理解を賜り、本年の3月議会から質問の通告制を採用していただいたことについては、ここにあらためて心から厚く御礼を申し上げます。

通告制の採用により、議会の開会日数が2・3日の増となりましたが、具体的に通告をいただいた問題については、組織を挙げて十分に検討・協議し、さらに研究を重ねて答弁をさせていただいており、町民の方々から好評を博しております。

また、従来のような、ややもすると抽象的な答弁に終ることなく、ひいては職員の資質の向上にもつながっており、その効果は、徐々に上がっていると考えております。

▲質問は1人1人が登壇して

選任されたもの

議会運営委員会（7人）

◉ 山岡　政次
○ 深松　実
　 酒井　栄
　 平崎　知勝
　 水島　保
　 石橋　芳和
　 大平　吉作

○総合開発環境調査特別委員

○ 扇谷　隆二

委員会の所属変更

▽総務教育委員
○大沢　龍松（産業建設委員）
▽環境厚生委員
○篠田　哲夫（総務教育委員）
▽産業建設委員
○酒井　栄（環境厚生委員）

報告されたもの

環境厚生委員会の副委員長酒井　栄氏が委員会の所属変更になりましたので、環境厚生委員会副委員長に水島　保氏が互選されました。

選挙されたもの

▽新川広域圏組合議員
○当選人
○大沢　龍松

みんなの広場

うちのあいどる

昨年の10月に弟ができて，お姉ちゃんぶりを発揮する毎日です。でもなぜかまだ「おしっこ」が言えません。

朝日町上道下　井上孝之さんの長女ゆかりちゃん（昭和57年12月29日生れ）

お父さん，お母さん。お子さんの写真に簡単な紹介文を付けて，役場総務課まで送ってください。

スポットライト

野性の野鴨のように！

山崎校下青年団
秋山正美さん

1月14日県庁大ホールで県の優良青年等表彰式があり、山崎の秋山正美さんが他町の3名とともに表彰されました。

そこで今回は、秋山さんにスポットを当ててみました。

秋山さんは、昭和34年12月1日生れの25歳。昭和53年3月に泊高校商業科を卒業され、（株）トヨックス（黒部市前沢）に入社。現在は、総務課に勤務しておられます。

さて、高校卒業と同時に、山崎校下青年団に入団。昭和54年の山崎校下青年学級副学級長を皮切りに、青年団事務局次長、副団長を経て、昭和57年と58年の2年間朝日町連合青年団副団長を勤められました。

今回の表彰は、彼女が連合青年団副団長時代に、女子リーダー研修を企画するなど、女子団員の加入促進に努めるとともに、その資質向上に努力されたことが認められたもの。

さて、なぜ青年団活動をやる気になったのかと尋ねると、「ほとんどの団員がそうであるように、高校を卒業してから当時の団長さんが勧誘に来られ、ただなんとなく入団しました。そのころバスケットクラブにも入っていたので、最初の半年ぐらいは、バスケットオンリーでしたが、地区の文化祭をきっかけとして、青年団に魅力を感じ、のめり込んでしまいました。ここまで続けてきたのは、一口では言えませんが、仲間がたくさんできたことでしょうか。」とのこと。

そこで現在の心境を伺うと、「高校を選んだことも、会社を選んだ事も、青年団に入団した事も、ただなんとなくという気持ちでした。今は、自分なりに目標を決め、目標に向かって進んで行くという事に心掛けています。これからも、目標に対して何らかの結果が出るまで頑張っていきたいと思っています。」とのこと。そこで、モットーにしている言葉を伺うと、『与えられた豊かさに甘えず、たくましく羽ばたく野性の野鴨であれ』という言葉です。自然の中でたえず新しさを求める厳しさ、与えられた豊かさではなく、生き残るたくましさを持つ野鴨のように生きたいと思います。」と力強い言葉。

最後に、特にうったえたいことを尋ねると、「町で、ぜひ海外研修や交換学生等の事業を行ってほしいものと思います。それは、町制35周年や40周年を記念してでも……」と青年団のリーダーとして活躍した彼女らしい言葉でした。

声

海・山・川をきれいに

大家小6年
西島ルミ子さん

私は、アイスクリームやガムなどを買うとだれも見ていない時、こっそり川にふくろや紙くずなどをすてます。そんな時、すててはいけないと心では思っていても、ついすててしまいます。すててはいけないと自分でも思いながらすてるのが自分でも不思議です。

夏、海へ行った時、水面にせんさいのポリ容器やすいかの皮、野菜のくずなどがうかんでいるのを見ると、きたないなあと思います。それに、だれがすてたのだろうと思います。見知らぬ人が、海へゴミをすてていったり、川へ流したゴミが海に流れこんだりしているのだと思います。海にすんでいる生き物だって、人がすてたゴミのせいで水がよごれて死ぬ生き物もいるかもしれません。

山にも、ゴミがすててあります。木のかげや草がぼうぼうに生えている所に、ジュースの空カンが転っているのを見かけます。その空カンは、ジュースを飲んだ後、ぽいっとすてていったのにちがいありません。空カン入れがないのなら、持って帰ってすてればいいと思います。でも、すてる人は、そんなめんどうくさいことをするのが、いやなのだろうと思います。

それから、川にもゴミがつまっていて、水がよく流れなかったりすることもあります。

私は、これから、紙くずはゴミばこへ入れ、空カンは空カン入れに入れようと思います。

みなさんもゴミや空カンをきちんとすててもらいたいと思います。それと、ゴミが落ちていたらひろってゴミばこへすててもらいたいと思います。

なかまたち

泊高校吹奏楽部

やる気だけはどこにも負けない！

朝8時ごろ、校舎の4階まで階段を昇って行くと、音楽室から様々な楽器の音が聞こえてきます。我が泊高等学校吹奏楽部のメンバーが早朝練習をしているのです。

3年生が引退してしまった現在は、1年生が14名、2年生が12名の計26名と小編成ですが、やる気だけはどこにも負けないと誇りを持っています。何しろ月曜日から土曜日までは6時まで練習し、日曜日は一日中練習になることもしばしばです。

夏休みなどは合宿、定期演奏会、コンクール、体育祭用ドリルの練習と息つく暇もないくらいです。そんなハードスケジュールを乗り切ることができるのも、本当に音楽が好きな人間が集まっているからだと思います。

泊高校吹奏楽部の創設はかなり古く、20年ぐらい前になりますが、ほとんど活動していなかった期間を経て、4年前に新たに再出発した、これから成長していく部です。

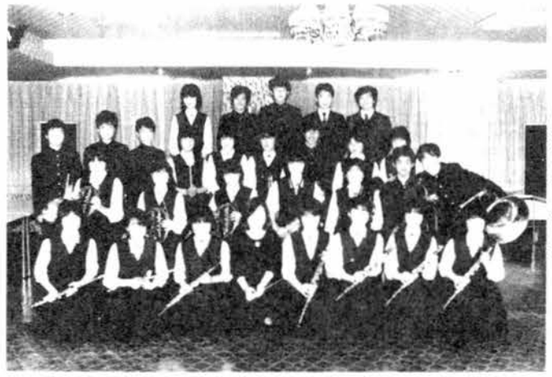
最初の年は、体育祭にドリル演奏を行うことから始め、次の年は、県外合宿や合宿先でのミニコンサート、さらに次の年には、念願の地元朝日町での吹奏楽演奏会の開催、全日本吹奏楽コンクール初出場で金賞を受賞するなど、少しずつ活動を拡げてきました。

昨年の夏の第二回の演奏会も皆様方の暖かい御支援のお陰で、無事終えることができました。

また、町制施行30周年記念の行事の数々にも参加させていただき、部員一同、大変喜んでいます。

まだまだ〝音楽〟には程遠い音を出している現状ではありますが、今年は何とか「全日本吹奏楽コンクール県代表」になろう！と練習に励んでいる毎日です。

（顧問　莵田　泉）



成人式で演奏した部員たち
◀OBも応援に駆け付けた。

町内のさわやかさんを紹介します。
町内に住んでおられる方ならどなたでもけっこうです。広報係に御一報を。

さわやかさんこんにちは！

加藤真紀子さん
（松濤町・22歳）

セーターの完成！

★勤務先
富山日本電気第2製作課第2係

★趣　味
野球観戦

★家族構成
父，母，妹2人の5人家族

昭和56年3月，県立泊高校商業科を卒業し，同4月に富山日本電気に。

現在は，プリント板製作の中の一工程を担当しています。

初めてセーターを編んでいます。今年は，それを完成させることと，何か大きな作品（手芸で）を作ってみたい。

また，青年団に入って，仲間と呼べる人がたくさんできましたが，もっともっと仲間たちと親しくなるとともに仲間の輪を広げていきたい。

理想の人は，いつまでも気の合った友達みたいな関係でいられるような人がいいな。

得意な料理は，シチュー，焼きそばのあんかけなど。レパートリーが少ないのでこれからいろいろ覚えます。

献体・献眼にご理解を

善意銀行では、いろんな善意の運動のほか、献体・献眼の運動も推進しています。

献体・献眼は、献血と合わせて3献（運動）と呼ばれ、人の生命を支える尊い隣人愛の行為です。自分が死亡してからとはいえ身体（又は眼）を提供することは、勇気のいることかも知れません。でも、ある婦人は、「私のできる最後の奉仕、私で役立つなら是非」と登録してくださいました。

こうして、尊い献体、献眼の善意の輪が少しずつ広がっています。

良い医師を育てる－献体

優秀な医師を育てる医科大学では、解剖学実習は不可欠です。

しかし、大学では遺体の確保が大変困難で、死亡後に遺体を提供する献体会員（生前登録）が求められています。この場合、葬儀のあと丁重に扱われるとともに、遺骨が遺族の元へ帰るのは当然で、物故者法要等も行われます。

見えない人に光を－献眼

目の角膜移植によって視力回復可能な数万人の失明者及び重度の弱視の方が期待しています。

死後に自分の角膜をプレゼントして、見えない人を助けようという制度が献眼（アイバンク）です。

あなたの目が障害者に愛の光を与え、ずっと生き続けるのです。

善意がいっぱい 歳末たすけあい募金

「みんなそろって明るいお正月を」のスローガンで昨年末に展開した歳末たすけあい運動には、皆さんの温かい思いやりがたくさん寄せられ、昨年を上回る大きな成果をあげました。

ご協力いただきました皆様に心から御礼申し上げますとともに、募金のお世話を願いました町内会や民生委員各位に対し、深く感謝申し上げます。

557名の方々をお見舞い

皆さんから寄せられた浄財は、町の歳末見舞金や善意銀行の支出金を加え、クリスマス前後におられる方や長期入院で療養中の方々は、社会福祉協議会の役員が慰問し、見舞いました。

温かい贈りものと激励に、皆さんはとても感謝され、特に、長期入院・入所の方々は、地元を懐しがられ喜びも大きかったようです。また、今回は、東南アジア、アフリカの難民救援にも皆さんの募金を活用しました。

お贈りしました。

町内在宅の恵まれない家庭や寝たきり老人、重度障害者等の方々へは、地区の民生委員が、県内の社会福祉施設へ入所して登録、詳細は町善意銀行へ。

歳末たすけあい結果

募金等の収入内訳

一般募金（愛の袋）	1,712,435円
町支出金	1,147,000円
善意銀行支出金	19,065円
合　計	2,878,500円

配分（見舞）内訳

生活保護世帯（50人）	324,000円
生活困難世帯（85人）	296,500円
ねたきり老人（64人）	256,000円
重度障害者（149人）	596,000円
里子（3人）	12,000円
被災世帯（9人）	32,000円
福祉施設入所者（83人）	498,000円
長期等入院者（114人）	684,000円
福祉施設（11ヵ所）	80,000円
海外たすけあい	100,000円
合　計	2,878,500円

ありがとうあたたかい志

朝日町善意銀行
（12月11日～1月10日）

♡朝日町ロータリークラブさんより
　社会福祉のためにと　100,000円
♡横水　青木留次さんより　3,000円
♡平柳　とく名さんより　2,000円
♡朝日町ライオンズクラブさんより指定寄付
　身体障害者協会へ　30,000円
　在宅生活保護世帯へ　70,000円
♡栄町婦人部さんより　10,000円
♡宮崎　佐田与川さんより　16,399円
♡扇谷工業所従業員一同さんより　12,595円
♡普明会教団高岡支部さんより　50,000円
♡朝日町母子福祉会会員の皆さんより
　一人暮らし老人のためにと，手作りの毛糸帽子　13点
♡日東紡績（株）労働組合泊支部さんより　100,650円
♡境　とく名さんより　741円
♡境　水島豊久さんより　3,841円
♡赤川　広田キクエさんより　5,039円
♡赤川　広田美良子さんより　5,000円
♡東草野　とく名さんより特別養護老人ホーム建設資金の一部　16,756円
♡平柳　とく名さんより　11,020円
♡八日会さんより　50,000円
♡金山　住吉朝春さんより舟見寿楽苑へ指定寄付　20,000円

参加チーム募集

第12回朝日町ビーチバレーボール大会

期　日　2月13・14・15・18・20日
会　場　朝日町民総合体育館
参加資格
○男子35歳以上、○女子20歳以上（昭和59年4月1日現在）
ただし、富山県バレーボール連盟に登録している者は除く。
チーム編成
○男子一部　35歳以上フリー
○男子二部　45歳以上
○女子一部　34歳以下
○女子二部　35歳～44歳
○女子三部　45歳以上
選手登録　一チーム6名以内
申し込み締切　2月7日（水）
抽選会　2月8日（木）午後7時半（総合体育館にて）
参加費　一チーム300円（障害保険料）

申し込み等、詳細については教育委員会（☎82－1104）又は、総合体育館（☎83－1838）へ。

初めての人も打ち合いが

朝日町硬式テニス教室終了

11月18日から25日までの8日間、60名余りの受講生の参加を得て、朝日町硬式テニス教室が開講されました。

富山県テニス協会公認の一級指導員である清水満、草野久昭、常石勝治さんらの指導のもと、グリップの握り方から始まり、サービス、スマッシュの方法など、一人一人が親切、丁寧に指導してもらっていました。

最終日には、2人ずつ分れてダブルスの試合を行い、最初グリップの握り方も知らなかった人も一緒にコートの中に入り、サービスや打ち合いもできるようになり、指導にあたった先生方も、受講生の上達ぶりに驚いておられました。

8日間という長い期間でしたが、受講生の中には、自分のテニスに対する才能に気づいたのか（？）もっと指導を続けてほしいとの声があがるなど、好評のうちに終了となりました。

◀初めは、リターンするのもやっとだった……。

ジャズダンス教室 受講生募集

最近、婦人のスポーツ活動には、めざましいものがあり、量的な増加ばかりでなく、組織化、高度化、生活化へと進み、スポーツに対する要求も多様化してきています。

そこで今回、「だれでも、どこでも、いつでも」をテーマに、多くの方々に親しんでもらい、併せて体力づくりにも役立ててもらおうと、ジャズ・ダンス教室を開催することになりました。奮って参加してください。

日　時　昭和60年3月4・5・6・7・11・13・14日　午後7時半～9時半
会　場　朝日中学校体育館
対象者　一般男女（特に、中・高校生の参加希望者は、父兄同伴のこと）
参加費　300円（保険料含む）
申し込み締切　3月2日（土）
申し込み先　朝日町教育委員会及び朝日町民総合体育館へ。
携行品　運動のできる服装及び内ばき。

国民年金 相談室 No.26

遺族年金を受けていても国民年金に加入できるか？

問　40歳の主婦です。厚生年金に加入していた夫が亡くなったため，現在遺族年金を受けています。しかし，遺族年金だけでは生活できないので，国民年金からも老齢年金を受けたいのですが，国民年金に加入できますか。

答　結論からいえば，会社などに勤め，他の公的年金制度（昭和59年９月号参照）の被保険者にならないかぎり，60歳になるまで国民年金に加入できます。つまり，他の公的年金の被保険者の配偶者や年金の受給者など，現に他の公的年金制度の被保険者や組合員となっている人以外の人は，希望すれば国民年金に加入できるということです。こういう人を任意加入被保険者といいます。

あなたの場合は，ご主人が亡くなられたことにより，厚生年金から遺族年金を受けておられるということですが，60歳になるまで，国民年金に任意加入して，保険料を納付することにより，国民年金制度からも通算老齢年金を受けることができますので，今からでも国民年金に加入してください。

2月のけんこう

アルコールは上手に！

もよる実に不思議な飲み物です。

そのため，適量には個人差があり，適量を指摘するのは難しいのですが，飲み過ぎは肝臓に負担が掛り病気の原因にもなります。また，胃腸や心臓に持病を持っている人，高血圧の人には，特に注意が必要です。さらに，毎日の飲酒は，アルコール中毒になる心配もでてきます。

ところで，特に肝臓にとって酒の飲み過ぎが悪い影響を与えることは，多くの人が知っているはずですが，お酒好きの人は，それでもつい飲んでしまうというのが本音のようです。

一回の飲酒で，血液中のアルコール分は24時間も残っているといわれます。このことから，肝臓に障害を起こさない量は，日本酒で一～二合，ビールなら二本，ウィスキーでグラス二～四杯です。

肝臓に負担をかけない上手な飲み方

肝臓や胃に負担をかけない上手な飲み方は，

- マイペースで飲む。
- 楽しく飲む。
- 豆腐，肉，魚，野菜類等の高蛋白，高カロリーのさかな（肴）を取りながら飲みましょう。
- 週に一～二回は，休肝日（酒を飲まない日）を設けましょう。
- 薬といっしょに飲まないようにしましょう。

飲み過ぎに注意

し好品の中でもアルコールは，付き合いなどで飲む機会の多い飲み物です。

飲み方しだいで，「百薬の長」にも「健康の大敵」にもなるのがお酒です。

人によりその酔い方に個人差があり，酒に強い人，弱い人，またその日のコンディションに

公民館もよおしガイド

２月の学級・教室・講座案内

	日	曜	学習内容	講師	場所	主催
青年教室	6	(水)	ジャズダンス	大川　都	南保小学校	南保公民館
婦人学級	2	(土)	婦人の生きがい	水島　秀範	境公民館	境公民館
	3	(日)	心の修養	大田　ひろ	大家庄公民館	大家庄公民館
	10	(日)	精神衛生について	未　定	山崎公民館	山崎公民館
	10	(日)	朝日町の文化財	金森はるい	生活改善センター	宮崎公民館
	11	(月)	主婦の役割について	玉池　流心	山崎公民館	山崎公民館
	24	(日)	子育てについて	水島　文子	境公民館	境公民館
	24	(日)	高齢化社会と婦人の心構え	未　定	南保公民館	南保公民館
高齢者学級	10	(日)	聴聞する	玉池　流心	大家庄公民館	大家庄公民館
	18	(月)	知恩の世界	尾崎　法	蛭谷公民館	南保公民館
家庭教育学級	14	(日)	親子スキーのつどい	道島　博	シーサイドバレー	山崎公民館
	23	(日)	自然と子どものかかわりあい	若狭　星一	大家庄公民館	大家庄公民館
公民講座	1	(金)	これからの朝日町を考える	長原　忠	大家庄公民館	大家庄公民館
	26	(火)	「蛭谷紙」作品発表	谷川　但	教育センター	中央公民館
	毎週火曜		手づくり絵本教室	酒井　祐子	福祉センター	中央公民館
	毎週金曜		洋画教室	湯口　敏明	福祉センター	中央公民館

愛の献血

協力者名　12月実施分

境地区　水島和彦、水島義晴、水島利保、水島育子

宮崎地区　松本研一、加藤昌子、加藤久一、大浜ハルイ、嘉義登美子、水島誠、大平千保美

笹川地区　勝田誠一、折谷彤子、茂美子、追分真智子、大島通代

南保地区　長崎美知代、勝田見一、越間佳織、谷口繁一、坂藤慎太郎、勝原寿正、佃明美、水野美喜子、長崎清恵

大家庄地区　七沢なをみ、九里久美子、青島由美子、辻栄哲男、水野啓子、水野美喜子

泊一区　寺田弘子、新田訓、田中みか子

泊二区　阿部行夫、大平和子、梅沢勉、大平与一、竹内秀孝、魚住久孝、松原茂美、久我口幸子、加藤邦男、下沢道代、畑瀬年明

泊三区　大平博昭、佐々木規之、池原昇、内川世紀信、沢田真澄、平野清彦、吉江勝広、大村常雄、山本修、岩田隆

五箇庄地区　佐渡喜久克、舘繁忠、篠田春子、上野與松、南井昭蔵

（64名）

町への寄附

12月11日
～１月10日

■道下の道用勇さんから，泊小学校へ，学校施設充実のためと，磁石黒板20面の寄附がありました。

■千葉県市川市の九里泰朗さんから，広報のためにと"2万円の寄附がありました。

告知板

行政相談委員から

〝このような苦情や要望はすぐ相談を〟その四（事例）

■は相談（申し出）　○はその措置

■私は，現在，厚生年金の老齢年金を受給しているが，夫も生前同老齢年金を受給していたので，夫の遺族年金も合わせて受給できないものですか。

○社会保険事務所に照会したところ，厚生年金からは，受給者の選択によって，一つの年金しか受給できないこと。また，申出人の老齢年金と夫の遺族年金では，老齢年金を受給している方が有利であることが判明したため，このことを回答したところ，申し出人は納得した。

■住宅周辺の道路が舗装されたため，降雨期になると，自宅前の排水溝だけでは飲みきれないので，排水管を設置してほしい。

○町に実情を説明し，善処方を要請したところ，申し出人の要望が認められ，早速工事に着手，三日後に設置された。

相談はすべて秘密であり，無料です。気軽にどうぞ。

〔行政相談日　定例〕

・毎月第１・第３火曜日（午前10時～午後３時）
・場所は朝日町福祉センター（☎83－0576）

〔行政相談委員〕

・加藤八郎　泊243（東下町・☎82－2063）

いつでも自宅で相談を受けています。電話でも結構です。

貯蓄増強中央委員会から

あなたは，家計簿を付けておられますか。つけておられる方は，この機会に「わが家の家計簿体験談」に応募しませんか。家計簿記帳を通じて得られた貴重な体験談を奮ってお寄せください。

原稿。400字詰原稿用紙５枚以内。本文のほか，月別・項目別支出一覧表を添付してください。

・原稿には，応募者の氏名，住所，職業，年齢，家族一覧，家計簿記帳年数，電話番号を記入。

締め切り　昭和60年２月28日

入選　特賞５編（賞金各５万円）優秀賞10編（賞金各３万円）奨励賞35編程度（賞金各１万円）

送り先　富山市堤町通り１－２－26　富山県貯蓄推進委員会まで

県立雄峰高校から

働きながら学習を

県立雄峰高等学校では，昭和60年度の通信制の生徒を募集しています。

▼通信制　働く時間が不規則な人や通学に不便な所に住んでいる人，又は身体の都合が悪くて毎日通学できない人が学ぶことができます。

学科　普通科

募集期限　４月６日まで

詳しくは，県立雄峰高校（☎0764－41－4951）へ。

トピックス まちのうごき

1月1日
山崎で元旦マラソン

小雪がちらつく元旦の朝。日の出前ということもあり，まだ薄暗い午前7時。「一年の計は元旦にあり」と，山崎走ろう会では，元旦マラソンを行いました。

コースは，山崎小学校前を出発し，岩崎から殿町，殿町からスーパー農道を通り花房へ，そして小学校に戻る約7キロ。

最長老の水野忠之さんを先頭に，全員元気に完走。元旦の朝さわやかな汗をかきました。

1月6日
消防団出初め式

この日，午前8時に消防本部前に約270人の団員が集合し，服装や機械の点検のあと，清水川，中江川，寺川の3か所で一斉放水。

このあと，本町五差路で第4分団の越沢久行さん指揮のもと，5人の団員が裸放水を繰り広げました。

また，都市計画街路の農協会館前を分列行進し，消防本部前に戻り，無火災及び優良団員の表彰を行いました。表彰は次のとおり。

無火災表彰

第2分団　5か年
第3分団　4か年
第1分団　2か年
第6分団　1か年

消防長功労章

第5分団　分団長　藤沢亮治

消防団長功労章

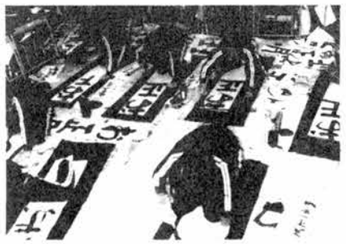
第1分団　班長　愛場昇一
第2分団　団員　加納信孝
第3分団　団員　西田勲
第4分団　班長　浜川勝輝
第5分団　班長　高木英三
第6分団　団員　水島英樹

▼第4分団の裸放水

消防団長表彰

第1分団　団員　谷　明
第2分団　団員　高島俊秀
第2分団　団員　稲垣吉夫
第3分団　団員　南部宣一
第4分団　団員　広田宏司
第5分団　団員　本村信行
第5分団　団員　松沢行雄
第6分団　団員　河内　勇

1月9日
各小学校で書き初め



▲元気に筆を走らせる児童たち

さあ3学期。3学期の始業式を8日に終え，9日には各小学校で書き初め大会が行われました。

蛭谷分校でも，この日午前9時30分から，全校生徒がそれぞれの教室で，机やいすを隅に寄せ，新聞紙を教室いっぱいに広げて書き初めを行いました。

1年生は，クレパスで「ひかり」，2年生から筆を使い，「あさひ」（2年）「お正月」（3年）「雪の立山」（4年）と，それぞれ元気よく書きあげました。

1月15日
舟川新で左義長復活

この日，舟川新神社において，約15年振りに左義長が行われました。

伝統的な新年の行事を復活させ，子供たちに受け継いでいこうと，舟川新『清流会』のメンバーの呼び掛けにより実現したものです。

境内の雪踏みに始まって，竹に各自が持ち寄った書き初め，締め飾り，破魔矢などの縁起物を取り付け，約1時間後に見事な左義長が出来上がりました。3本の竹に御神酒をかけ，お参りしたあと，由井勇君（小6）と由井友代さん（小5）の手で点火されました。

約30名の子供たちとお父さん，お母さん，そして懐かしい行事の見物に来たお年寄り，総勢50名が見守る中，火は燃え上がり，『字が上手になりますように』との子供たちの期待の中，書き初めも勢いよく空に舞い上がりました。

最近では，竹やワラが手に入りにくいご時世。いつまでもこの火が消えないよう祈りたいものです。

▼復活した左義長

1月19日
奥さま防災博士に

◀奥さま防災博士の水井さん

日本損害保険協会では，昭和47年度から，奥さま防災博士の募集と表彰を行っていますが，昭和59年度の奥さま防災博士には全国から186名の応募があり，厳正な審査の結果，36名の方が晴れの奥さま防災博士に選定されました。

朝日町からは，不動堂の水井和子さんが選ばれ，1月19日，東京新宿の京王プラザホテルで表彰されました。

固定資産評価審査委員決る

12月に開会された第8回朝日町議会定例会で固定資産評価審査委員会の委員に加藤敏夫氏の選任が同意されました。

加藤敏夫氏
（59歳）
朝日町宮崎

▲アトラクションで行われた郷土芸能（笹川かべぬり唄）

今月の表紙
「今年は国際青年年」

1月15日午前10時から，あでやかなドレスやキリッと背広に身を包んだ男女170名が出席し，中央農協会館で成人式が行われました。

式典では，寺崎町長から「皆さんは，権利と義務を与えられたと同時に，独立した個人として，国家・社会に対し責任のある行動を期待されているのです。本年は，国際青年の年でもあり，21世紀を担う青年の情熱と創意による行動が求められています。」と励ましのあいさつがあり，これに対し成人者を代表して米丘 久さんから「私たちの行く先には，数知れない困難の壁が立ちはだかっていると思います。どんなに苦労しようとも必ずその壁を乗り越え，前進しつづけます。」と力強い誓いの言葉があり，式を終えました。

その後，優良青年の表彰式や笹川青年団によるかべぬり唄等の郷土芸能の発表，泊高校吹奏楽部によるブラスバンド演奏と続き，新成人の新たな門出を祝いました。

おすこやかに

境　渡辺昭夫　長男　昭史
宮本町　大村康範　二女　規子
弥生町　水島啓二　長女　香央里
上町　門俊之　長男　真一郎
清水町　水島正　長男　達也
東草野　松岡巌　二女　絵美
沼保　荒川孝彦　二女　愛里
平柳一区　黒坂博志　長女　恵
桜町　宮成久雄　二男　諒歩
赤川　窪田淳一　長女　愛
谷　岩井康正　長女　朱美
辻岩崎　水野明博　長女　祐佳
山崎越　安達祐一　長男　一輝
細野　小杉嘉博　長女　彩子
殿町　湯口敏治　長女　みゆき
井の口　塚本章　長男　雄一郎
柳田　堂用正信　二男　清文
舟川新　岡田和夫　長女　久美子

おしあわせに

○宮本町　堀地祐司
○中町　宮崎水島元子
○魚津市　板倉佐修治
○荒川三丁目　金井勝則
○桜町　小松弘美
○高岡市　田中敏朗
○花房　米澤安見子
魚津市　牧野泰久
長谷川　真里子

ごめいふくを

笹川新　竹内與一（75）
中町　国枝和政（78）
本町　中川ハナ（77）
東草野　館　徳太郎（76）
松涛町　下常三（66）
上道下　小河絹子（55）
平柳一区　草野初枝（61）
竹の内　小林半欠（82）
高畠　森やゑ（85）
辻岩崎　赤川甚吉（86）
小在池　常石洋子（37）
殿町　九里清次（78）
大家庄　井森弘（59）
下山新　吉野伶子（40）
森野　清作（64）

▲ハシケに分乗する旅客(大屋浜)

まちのアルバム

大正2年，富山～直江津間（富直鉄道と称した）が開通するまでは，東京への交通は，米原経由の東海道線廻りと，岩瀬一魚津一泊から船で直江津に渡り，そこから信越線を利用して東京へ行く2つのコースがあった。しかし，東海道廻りは，日数と経費がかさむので，しけや冬期の海が荒れる期間を除き，専ら後者のコースが利用された。

当時の大屋海岸はその連絡船の発着場として，大屋地区の中ほど（現在の大屋公民館の東側）に乗船券発売所まで設けられ，旅行者や見送り出迎えの人たちで賑わったものである。

乗船客は沖に停泊する客船までハシケで輸送され，見送りの人たちは渚で手ぬぐいを振りながら別れを惜しんだと言われる。

◀現在の大屋海岸

あなたの本箱

朝日町立中央図書館　☎83—0574

図書館案内

本や紙芝居、雑誌は一人2冊まで借りることができます。借りた本は、2週間以内に返してください。

本はすべて無料で、借りる手続きも簡単です。

読書あんない

あなたの読みたい本、どんな本があるのか分らない時は、遠慮なくお尋ねください。本を選ぶお手伝いをします。

図書館にある雑誌

婦人公論、マダム、暮らしの手帖、家庭画報、主婦の友、婦人倶楽部、ノンノ、モア、クロワッサン、プチセブン、タウン情報とやま、美しいキモノ、週刊朝日、実業の日本、中央公論、文藝春秋、子供の科学、ニューハウス

図書館にある新聞

朝日、北日本、富山

調査・相談

分からないこと、知りたいこと、疑問に思うことなど本に関することを調べるお手伝いをします。

複写

図書館にある資料をコピーいたします。1枚40円（B4、B5版共）です。

予約

あなたの読みたい本が図書館にないとき、貸出中の本などは予約してください。

①貸出中の場合、本が返ったときに知らせます。

②買ってない本は購入します。

③県立図書館などから借りることもできます。

開館時間

火～土曜日　8時30分～17時
日曜日　8時30分～12時

休館日

毎週月曜日、国民の祝日、年末年始

皆さんのご利用をお待ちしています。

れんけ読書会

日時　2月13日（水）午後1時30分～
会場　福祉センター茶道室
テキスト　「岸辺のアルバム」山田太一

広報室

「今冬は、56豪雪を上回る豪雪とか」これは、昨年3月号の広報室の書き出しの言葉です。

今年度も12月から連日の雪で、38豪雪に匹敵する豪雪とか。

こう毎年続くと、豪雪であることが、普通の年になったような気さえしてきます。

皆さんも年末から、雪との大格闘を演じられたと思いますが、例年なら、1月下旬から2月中旬までが本番です。町内でも家屋倒壊が何件かありました。もうしばらくガンバってください。

広報あさひ2月号をお届けします。

人口と世帯

	12月1日	1月1日	増△減
世帯数	5,069	5,075	6
人口	18,730	18,737	7
(男)	8,847	8,846	△ 1
(女)	9,883	9,891	8

広報あさひ　■発行/朝日町役場　〒939-07 富山県下新川郡朝日町沼保810-5 電話 0765㊸-1100（毎月1日発行）